



業種：電子部品製造業

会社概要：

- 本社工場（鹿屋市寿）
- 大浦工場（鹿屋市大浦町）
- おおすみ工場（鹿屋市大浦町）
- かさのほら工場（鹿屋市笠之原町）

所在地（本社）：

鹿児島県鹿屋市寿7丁目515-18

ホームページ：

<https://www.kanoyadenshi.com>

会社のPR情報

有限会社鹿屋電子工業は1980年に創業しました。次世代通信に関わる電子部品や自動車の安全を守るための部品、産業用プリンター内部の部品家電製品内部のセラミック部品など幅広い分野で利用される部品を手掛けています。長年お付き合いのあるクライアント様や社員とその家族の皆様を支えられて事業を続けられてきました。

社是に「報恩謝徳」、社訓に「可能性を限定しない」を掲げ、地元地域に貢献し、多様性のある柔軟な雇用体制と働き方で鹿屋No1企業を目指します。

会社からのメッセージ

当社はその人に見合った仕事、その人がこの作業なら出来るといったような仕事の創出はしません。社訓「可能性を限定しない」にも繋がります。これ以上できないのではないかと、とこちらが勝手に線引きして人の可能性を限定してしまえば、成長の機会を逃すこととなります。高齢者や障害者といった枠組みにとらわれず、一緒に働く中で最良の働き方を共に考え、見つけ出すことが当社の今後の更なる成長に繋がると思い、全員で日々の仕事に取り組んでいます。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たったの評価ポイント)

数的側面

雇用状況	実雇用率	4.44% (2022年6月1日現在)
	障害者不足数	0人
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職6か月後定着率	100%
	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	100%

障害者雇用への取組 (認定に当たったの評価ポイント)

体制づくり

組織面	<ul style="list-style-type: none">■会社と従業員間のコミュニケーションツールとして使用しているアプリケーション「TUNAG」を用いて、社長及び取締役から全従業員に向けて会社の障害者雇用の方針と理解促進のメッセージを発信しています。■障害者職業生活相談員9名を障害者が配属されている各工場に2名～4名ずつ配置しており、業務指導だけでなく職業生活全般における相談なども定期的に行っています。
人材面	<ul style="list-style-type: none">■障害者雇用に係る専門的な外部研修・セミナーを積極的に活用しており、おおすみ障害者就業・生活支援センターが令和4年7月と11月に開催した「企業における障がい者支援担当者交流会」に参加し、鹿児島障害者職業センターのカウンセラーや精神科医による講話を受講して、他事業所における支援等の情報収集とネットワークの構築に取り組んでいます。

仕事づくり

事業創出

■ 2021年2月決算および2022年2月決算の経常利益が黒字。

職務選定・創出

■ 鹿屋・大隅地区障害者就職面接会に参加して、当社に応募があった障害者について、おおすみ障害者就業・生活支援センターから障害の特性や能力・適性についての説明を受け、障害の特性に適した職務について理解を深めました。その後、10日間の職場体験を実施した後に雇用しています。

環境づくり

職務環境

■ 作業マニュアルについて、障害特性に配慮して、作業手順が明確になるように作業の順番を付け、写真を貼り付けることで分かりやすくカスタマイズしています。

■ ラベル貼付け業務専用の治具を作成し、一目で良否が判断できるようにしています。

募集・採用

■ 鹿児島県立鹿屋養護学校の生徒の職場実習を毎年受け入れています。その際は、担当者を配置して職務指導や相談支援を実施しています。また、実習前に生徒、保護者、学校職員、担当者による四者面談を行い、個々人に合わせた観点で体験する業務を決定しています。

■ 令和3年7月に、おおすみ障害者就業・生活支援センターが開催した、就労支援事業所の利用者を対象とした「就職のための勉強会」に、弊社で雇用している障害者の方に講師として派遣の依頼があり、当社取締役同行のもと講演しました。

その他の雇用管理

■ 職場適応上の問題が起こった際に支援機関の支援を速やかに受けられるよう、おおすみ障害者就業・生活支援センターと日頃から連携を図っており、意見交換のため定期的に訪問しています。実際に問題が生じた際には、速やかに支援機関に相談・面談を行い、問題の改善に至っています。